１００キロマラソンじゃあ～なる

5463

1984年9月15日第１号発行～

2010年11月9日

997-0826 鶴岡市美原町30－24
☎0235（22）3669
090-2986-7724 携帯

塞

ライバルに跳躍される！茂木杯ハーフマラソン　11月7日：酒田市

体調は昨日から好転せぬまま。朝食もそこそこに会場へと車で出発。予想以上の好天だ。スタート60分前ウォームアップ開始、汗の出方が不吉な感じだ。悪寒がするのでロングタイツと半袖シャツそして軍手を嵌めてスタート地点へ。ライバルのK.Kさんが赤い派手なユニフォームで待機していたので、並んでスタート合図を待つ。公益文化大学の400mトラックを2周してロードへ。のっけから上り坂。今日のコースは緩いアップダウンの連続。キロ当り5分で何とか走るも14K付近で歩く。途端にライバルが先行し、そのまま離されるのを何等の抵抗もせず目で送る。その後も走ったり歩いたりを繰返しラスト3K、長い坂の横で木村君が声援をしてくれるが、またトボトボ歩きが入る。流石に下り坂はペースもあがったが、それも長くは続かず。漸くゴールのグランドへ、工藤氏が励ましてくれるも、ラストをかける気力なし。ゴール前では講座の美女(?)たちが大声援、不本意な走りで恥かしいこと夥しかった。完走証には1時間47分44秒と印字されていた。涙が止まらない。

ライバルKKさんは10時間44分とのこと、完敗！乾杯！

それでも講座の諸君はほぼ満足のいく走りをした様だ。このところ進境いちじるしいM君は自己ベストの1時間25分50秒。11月末のつくばマラソンが楽しみだ。もしかすると念願のサブスリーも見えてくるというものだ。同様にサブスリーが期待されるK丸君は16時間27分の？と本人は不本意だったようだが、むしろフルマラソンの方が好タイムを出せるものと……。

〈その他の記録〉

10K	佐弘	52'27	5K	浅格	19'36	11-7 鉢 2°08'39
	佐智	55'21		佐ル	31'03	11-7 初挑戦の谷葉 2°25'00
	奥美	58'14		角悦	30'14	
	渡玲	59'13		佐千	32'11	
	S.I	49'23		足琴	26'52	
					-32-15	

（詳細は本人にお尋ね下さい）

～凄いランナー出現～

こんにちは、いつも楽しくジャーカルを拝読させていただいております。ありがとうございます。

10月24日に高島平ロードレースの20kmの部に参加してきました。私の住居から徒歩2分と近いので毎年参加しております。簡単ではありますが地元高島平を紹介させていただきますと、板橋区の北部に位置し、都営三田線の高島平駅になります。周辺には中央卸売板橋市場、トラックターミナルを中心とする物流の拠点にもなってます。高島平団地という都内最大級の団地があり、現在でも2万人以上が住んでおります。完成当時、高層団地は珍しかったことから投身自殺に訪れる人が多く、マスメディアから自殺の名所と呼ばれ社会問題になった時期もあったようです。

当時その対策に階段付近にフェンスを張り、屋上を侵入禁止にするなどの措置がとられ現在は自殺者はいなくなったようです。一部の屋上では年1回の板橋大花火大会の観覧に開放されています。深刻な問題として、団地の居住民の子弟が成人後、就職後に独り立ちするなどして人口の減少に拍車がかかり、高齢化問題が表面化しています。

肝心のレースですが、1周5kmのコースを4周する周回するコースで行なわれます。団地・住宅街を走る平坦なコースです。都内で唯一の20kmの公認コースです。実業団選手や各大学の主力級のランナーも毎年エントリーしています。今回は上野裕一郎選手、駒澤、神奈川、青山学院、拓殖、東洋などの大学生ランナーがエントリーしていました。酒田南高出身の東洋大、佐藤寛才選手もプログラムに載っていましたが当日欠席されており残念でした。

この大会は制限時間が90分なので、ファンランナーには少し厳しい条件かもしれません。競技性の濃い大会なので、周りの人はアップでも表情が真剣モードで、ピリピリとした雰囲気を感じ得ずにはいられませんでした。スタートは9時50分、大学生は前の方に並び、あとはゼッケン番号ごとの区切られたエリアに移動。ずいぶんと後方に位置して不安。周りを見渡すと、ランシャツにクラブ・友会の名称が打ってあり、速そうな人ばかりだと思い込んでしまう。何となく自信を失くしかけてきましたが、ある程度の練習は積んできたし、体も軽く感じられる。トイレも済んだし、スーパーカーボも飲んだので、最低限の事はやったのだと暗示をかけました。号砲が鳴りスタート。道幅がそんなに広くないためもたついてしまい、スタート位置まで14秒かかる。名ばかりの記録なので1時間以内の目標は痛いです。今年は気温も20℃を切っているので、昨年の29℃と比較すると断然走りやすいコンディション。沿道には走友会の方々や知り合いの応援もあり、元気をいただくことができました。中盤、援者の付近を通過する時、少しペースが上がるのは不思議です。涼しいとはいえ汗が滝のように流れてきてかなり不快に感じられてきました。2周目に入ると給水テーブルが出現し

（5464）へつづく

１００キロマラソンじゃあ～なる

5464

997-0826 鶴岡市美原町30－24
☎0235（22）3669
090-2986-7724 携帯

1984年9月15日第１号発行～　2010年11月9日

11月も上旬、残るイベントは11/14 3時間走C、12/19 4リティ3時間走を残すばかりとなりました。1月から各種イベントを皆さん方の参加で賑々しく実施してきましたが、これまでの「100キロマラソンASSイベント」集計の状況をお知らせ致したいと思います。

尚、イベント集計の上位者（3～3名）には12月　日の望年会において記念品を贈呈する予定です（欠席の場合は除外）。今後のイベント対象は前述の3時間走、4リティランの他ジャーナル投稿分も含めて集計されます。残念ながら県外ランナー、読者の方は記念品の対象とはなりませんのでご了承下さいね。

11月8日現在のイベント点上位者

中野 S. 106	佐野 107	若林 152	石川S 133	忠美 170	和
押井 H. 148	本厚 89	佐智 171	角屋E 101	渡玲 262	
金丸 K 155	木村K 131	加久美 182	疋美 132	佐千 182	
疋田 H 176	門 H 113	粕S 98	奥美 291	佐弘 164	
白幡 M 88	五十嵐 123				

ジャーナル寄稿状況　ポイント

一原	80P	田栗	70	間	40	吉岡	100	五十嵐	20
中田	30	伊則	50	山下	50	石上	50	佐元	10
籾山	30	中野	100	高瀬	60	越田	60	石川	70
斎藤	30	三上	20	木暮	20	長木	10	粕谷	40
迫本	20	島田	40	岩切	40	山本	10	角E	10
香川	20	河野	110	宍川	120	押井	40	疋田	70
大森	100	宮内	40	詰田	110	白幡	30	奥美	60
内山	30							春M	70

忠美 40
渡玲 70
佐弘 50
加久 30
宮本 40
田村 50
坂の 40

たまらず給水する。中味は水でした。協賛が大塚製薬だったので、アミノバリューを置いてもらったのです。欲を言えばスポンジがあると助かりました。レース中は自分のペースに見合うランナーを見つけ後方につき、離れないように心がけました。10kmの通過は39分51秒、まだ2周もあるのかと思うと気が滅入ってきました。13km付近で目標ランナーに離されていき、だんだん遠ざかっていきました。この辺りが一番苦しい場面でした。3周目を終えようとする14km地点手前で、後方からマイク音声でトップ選手が通過しますので、ランナーの方は両端に寄ってください との声が。もう来たのか？嘘でしょうと思いました。自分の14kmの通過タイムに残り1km、約4分を足せば、15kmの通過は59分40～45秒くらいの到達予想でしたので、これよりも遅いタイムで4周を終えフィニッシュするかと思うと、化け者じゃないかと思いました。そうこうするうちにすぐ後方に先頭ランナーの足音が近づいた。トップ予想は上野裕一郎さんか、駒大の堀上、東洋大の千葉、城西大の田村選手あたりだろうと思った矢先、左を見たら青山学院大の選手でした。予想外であり、青学のランナーの名前は誰1人と知りませんでした。自分は約4分そこそこのペースなのに彼はラストスパート状態でしたので、恐らく約2分40秒台くらいのペースかと思われます。やはり大学生。抜かれた時のスピードが全く違うし、走りが軽快すぎる。自分との約1分以上のスピード差をまざまざと体感し、比較できたことは一生の良い思い出となりました。まさに異次元の走りを見た瞬間でした。

凄い走りを目に焼き付けた後、4周、20km無事終了し、タイムは1時間19分36秒で、ぎりぎり約4分を切れました。大田原に向けて、今の力を見極めるうえではますますの成果かと思いました。今回のレースは大学生にとっては、全日本大学駅伝の選考に影響するので、皆さん全力で挑んだレースでなかったかと思います。ちなみに箱根駅伝の選考には、11月の上尾ハーフが大きく影響するようです。今回優勝した青学大の選手は2年生で、名前は出岐雄大選手、長崎北陽台高校卒。5000mベスト→14分01秒　10000mベスト→29分49秒の経歴の選手です。今回のタイムは58分51秒のコースタイムで、2006年に伊達秀晃選手（東海大在学時）が出した記録と並びました。約2分5秒でもた計算になります。新星出岐選手、今後の活躍に注目してゆきたいです。

しかし上野裕一郎選手は一般の部で優勝したものの、1時間01分48秒は大学生の中で11番目記録となったようでした。スタート時から一気に飛び出し、5kmもたたないうちに吸収される展開になったようで、なんとなく昨年あたりから、ラビット役に徹するような乱れた走りが目立つような気がします。一種のかく乱戦法のようです。最近良い結果が出ていないようなので、更なる練習を積み重ね、今のくすぶっている状況を打破するしかないですね。

長々と失礼いたしました。

一流ランナーの走りを間近かで体感できるのは幸いなことですね。特に若手を対象とした選考レースは異様までの緊迫感を持つものでしょう。別の意味では是ばかりとは思えませんが。これからの日本マラソン界を牽引して行くランナーになって貰いたいです。出岐選手には